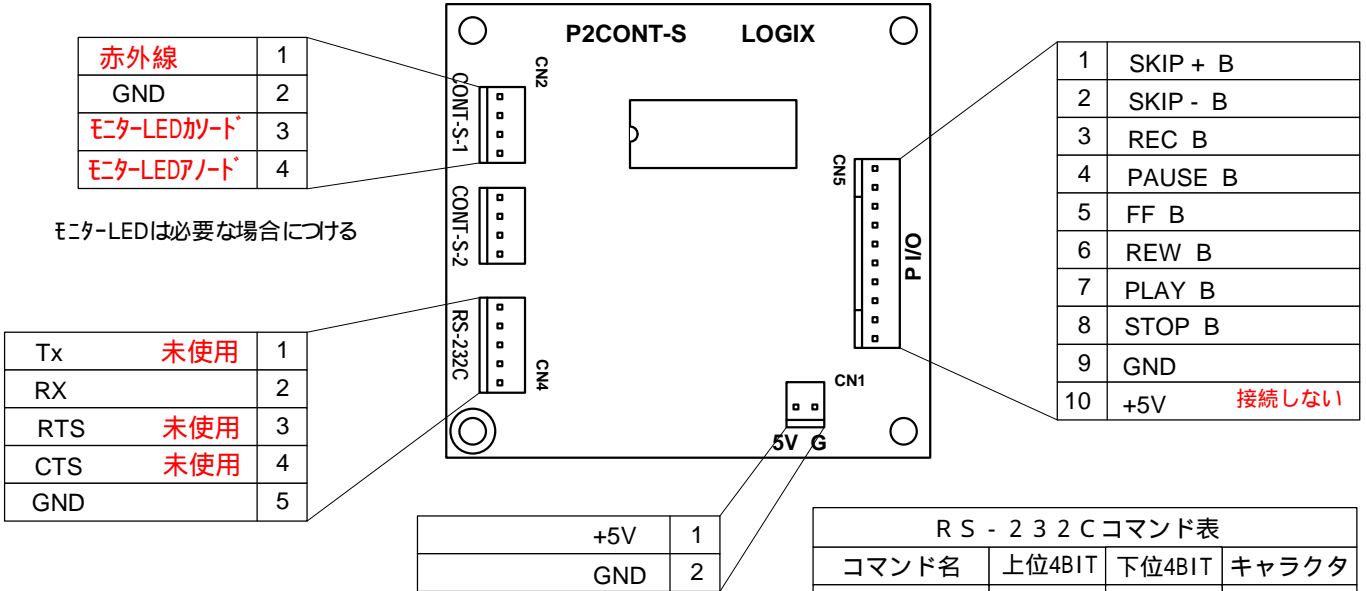


パラレル&RS232C 赤外線コマンド変換基板 説明書

J V C カセットデッキ用

この変換基板は基板上の1チップマイコンのプログラムを調整することで、その機能を実現しています。
 入出力の様子は下記のとおりです。電源、および信号の極性には十分注意して配線してください。
 注意点として、パラレル入力の信号線の長さは1M以内(できるだけ短く)、RS-232C信号は15M以内で使用してください。この長さは使用する環境により、左右されます。

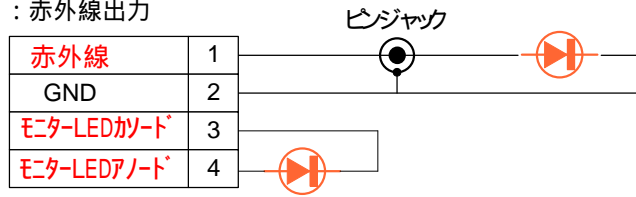


モニターLEDは必要な場合につける

RS - 232 C コマンド表			
コマンド名	上位4BIT	下位4BIT	キャラクタ
STOP B	0x6	0x1	a
PLAY B	0x6	0x2	b
REW B	0x6	0x3	c
FF B	0x6	0x4	d
PAUSE B	0x6	0x5	e
REC B	0x6	0x6	f
SKIP - B	0x6	0x7	g
SKIP + B	0x6	0x8	h
DIR B	0x6	0x9	i
STOP A	0x6	0xa	j
PLAY A	0x6	0xb	k
REW A	0x6	0xc	l
FF A	0x6	0xd	m
SKIP - A	0x6	0xe	n
SKIP + A	0x6	0xf	o
DIR A	0x6	0x0	`

CN1 : 電源入力 安定化されたDC 5Vを入力します (消費電力: 10mA以下)

CN2 : 赤外線出力



赤外線	1
GND	2
モニターLEDカソード	3
モニターLEDアノード	4

CN4 : RS-232C入力

接続しない	1	
Rx	2	Dsub9F Pin2
接続しない	3	
接続しない	4	
GND	4	Dsub9F Pin5

CN5 : パラレルコントロール入力



これらの端子をGNDに接続すると、該当する赤外線信号が出力されます。この信号はグラウンドにショートしている間、出力されます。同時に複数選択することは禁止です。